

平成25年度学内版 GP 成果報告書

取組名称	「信大 YOU 遊」20 周年記念シンポジウムの開催
実施組織 (または対象のカリキュラム)	「信大 YOU 遊」20 周年記念シンポジウム実行委員会(実行委員 21 名) 実行委員長 山口直行(松本市立丸ノ内中学校教諭)
※連携する他学部・機関 がある場合は記入	
実施責任者(所属)	土井 進(教育学部)
取組の目標	「信大 YOU 遊」の地域貢献活動が 20 周年を迎えたことを慶祝し、先輩後輩が一堂に会し、新たな一歩を踏み出すことを目標として開催した。
1. 目標達成のために行っ た活動と成果 (箇条書きで項目ごとに番 号を付けて記載。成果の詳 細は必要に応じて別添とす る)	<p>①第 1 期(平成 6 年度)から第 20 期(平成25年度)までの正副実行委員 長、正副運営委員長、正副プラザ長、正副講座長を務めた 552 名に、シン ポジウムの開催通知を郵送並びに電話、メールで送信した。</p> <p>幸いなことに 169 名から出席の返事があった。</p> <p>②実行委員が 21 名集まり、副実行委員長に白井敬氏(佐久市立岩村田小 学校教諭)、那須紋子氏(三重県鈴鹿市立一の宮小学校教諭)が選出され た。実行委員会は 3 回開かれ、1 回目と 2 回目は教育学部で、3 回目はシ ンポジウム会場となるホテル信濃路で開催した。</p> <p>「YOU 遊」の同窓生による実行委員会は澆刺として和やかに進められた。</p> <p>③「YOU 遊」の意義を再認識するために、小岩井彰氏(上田市立北小学校 長)に講演していただいた。同氏は青木村と長野市大岡において、「YOU 遊」の通学合宿を創始した方で、聴講者に大きな感動を与えた。</p> <p>④45 分間のシンポジウムを 2 回設定した。第 1 回目は、「YOU 遊体験によ ってどのような力が身に付いたか？」第 2 回目は、「YOU 遊体験の中で最も 楽しかったことは何か？」であった。7 人ずつ 20 班に分かれてのシンポジウ ムを通して、「YOU 遊」は学生に生涯にわたる友情(フレンドシップ)を形成 していること、仲間や地域社会に感謝の念を抱いていることが、大きな特色 として明らかになった。</p> <p>⑤約 50 人が残って懇親会を行い、旧交を温める機会となった。</p> <p>⑥都合でシンポジウムに参加できなかった卒業生、並びに 20 年間 5 代に わたる歴代の信州大学長に記念誌をクロネコ便で送付した。</p>
2. 目標達成度に関わる所 見と今後の展望	<p>「YOU 遊」の学生が地域貢献をする場である、青木村、麻績村、長野市茂 菅、長野市大岡、長野市湯谷から関係者をご出席くださり、20 周年を寿い てくださった。20 年間の積み重ねの偉大さを実感することができた。卒業生 も長野県内はもとより、東京都、千葉県、静岡県、岡山県、徳島県などから 集ってくださった。20 年の間に、かつての大学生がお父さんとなりお母さん となって、お子様連れで参加してくれた人もあった。このお子さんたちを学 生スタッフが世話した。2代にわたって「YOU 遊」が実現したことに感動を 覚えた。20年間の苦労は十分に報われてなお余りあるものであった。</p> <p>今後は、初心に戻って第21期をスタートし、信州大学の地域連携事業の 一つとして発展するように、しっかりと学生支援をしていく決意である。</p>